

2009年度 名古屋大学 前期 世界史

I

- 問1 宇宙を司る天帝の命令により、有徳者が天子として地上の支配者となり、天下を統治する。そして天子の徳が衰えると、別の有徳者に天命がくだる、という思想である。
- 問2 (1) 周王の権威が衰え、諸侯が自立し、実質的に各地を支配する体制である。
(2) 春秋時代では封建制が依然として維持されていたが、戦国時代では各国が郡県制を進めた。
- 問3 (1) 商鞅
(2) 旧来の血縁集団を解体し、什伍の制という隣保制度を創設して、信賞必罰による法治主義のもとで、中央集権化と富国強兵策を推進した。
- 問4 郡県制や官僚制による一君万民の皇帝専制体制を継承した。

II

- 問1 a アーヘン b サレルノ c トレド
- 問2 ランゴバルド王国
- 問3 後ウマイヤ朝
- 問4 ヒエロニムス
- 問5 知恵の館 (パイト=アルヒクマ)
- 問6 ノルマン人

III

- 問1 ア 長安 イ 洛陽 ウ 開封 エ 北京 オ 南京
- 問2 (a) 北方民族の勢力の中心が西北地方から東北地方へ移動したこと
(b) 主要な穀物の生産の中心が華北から江南へ移動したこと
- 問3 両都市が内中国と外中国の境界領域にあり、内中国の統治と外中国との外交という機能を合わせ持ったから
- 問4 a 後漢 b 北魏 c 後唐
- 問5 (a) (政権名) 西夏
西夏の侵入をうけて、宋は慶暦の和約で臣下の礼を取らせ、銀・絹・茶の歳賜を与えた。
(b) (政権名) 遼
遼との燕雲十六州をめぐる抗争の後、宋は澶淵の盟を結び、自らを兄、遼を弟として銀・絹の歳賜を与えた。

IV

スペインやポルトガルの新大陸への進出以降、先住民の激減を背景に、西アフリカから黒人奴隷が輸入された。彼らは、西欧諸国による三角貿易のもとでカリブ海域やブラジルでの砂糖プランテーションの労働力として酷使された。他方、北アメリカの植民地ではイギリスやフランスからの移住が進んだ。独立後のアメリカ合衆国は主に西欧からの移民を受け入れ、ジャガイモ飢饉に苦しむアイルランドからの移住者も増加した。またゴールドラッシュを契機に中国からの移民も増え、奴隷制廃止による労働力不足を補い、彼らは大陸横断鉄道の建設に従事した。20世紀に入ると、南欧・東欧系移民が激増し、合衆国の工業発展を支えた。しかし、移民に対する差別・偏見が生じ、移民法でその数が制限された。第二次世界大戦後になると、アジアや中南米から移民が増加した。(350字)